



図書館だより

NO.7

丸亀市立綾歌中学校 令和4年 11月号



暦の上では立冬を迎える頃となりました。木々の葉の色が深まり、紅葉が見ごろになる季節ですね。図書館では先月に引き続き10日まで読書週間イベントを開催中です！本を借りてポイントをためると、文化委員手作りのしおりやブックカバーなどがもらえます。まだ参加していない人はこの機会に図書館を訪れ、素敵な本と出会ってください。

—霜月（しもつき）—

霜月とは、旧暦11月の呼び名です。旧暦11月は今でいうと12月にあたり、「霜が降りるほど寒い月」という意味です。

また、旧暦11月は、“10月に出雲大社に集まった神様が、それぞれの持ち場に帰ってくる月”という意味で、「神帰月（かみきつき）」と呼ばれたりします。

その他、「雪待月（ゆきまちづき）」、「神楽月（かぐらづき）」という異名もあります。



読書週間イベント

10月24日（月）～11月10日（木）

- ① 期間中ポイント2倍
- ② ポイントをためるとプレゼント！
 - ・文化委員の手づくりしおり
 - ・+1/+5カード ・ブックカバー
- ③ 文化委員おすすめの本（POP&帯）の展示

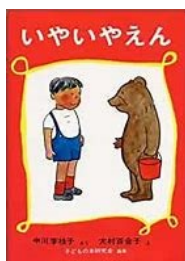


～絵本作家、山脇百合子さん～

画家で絵本作家の山脇百合子さんが、9月29日80歳でお亡くなりになりました。

山脇さんは、姉の中川李枝子さんの童話『いやいやえん』に挿絵をつけたことがきっかけで絵本作家の道へ進まれたそうです。

お二人の代表作『ぐりとぐら』は、1963年に発表されました。お料理することと食べるのが大好きな、野ねずみの双子のきょうだい「ぐり」と「ぐら」。ある日森の中で大きな卵を見つけ、フライパンいっぱい大きなカステラを作りました……。ほのぼのとした柔らかいタッチで描かれた「ぐり」と「ぐら」は、ストーリーと相まって、またたく間に人気者となりました。以来、累計2000万部を超えるシリーズ絵本となり、約60年にわたって読み継がれています。







<単行本>



新しく入った本



<p>ハヤブサ消防団</p> 	<p>池井戸 潤</p>	<p>ミステリ作家の三馬太郎は、東京から亡き父の故郷であるハヤブサ地区に移り住みました。消防団に勧誘され、迷った末に入団を決意した太郎は、のどかな集落で起こる連続放火事件の真実を知ることになります。</p>
<p>先祖探偵</p> 	<p>新川帆立</p>	<p>“先祖探偵事務所”を開く風子のもとには、「曾祖父を探してください」といった先祖の調査依頼が舞い込みます。調査のため地方を飛び回る風子でしたが、自らも生き別れた母を探したいとの想いを抱えていました。</p>
<p>両手にトカレフ</p> 	<p>プレイディみかこ</p>	<p>14歳のミアは、図書館で“カネコフミコ”のという人物の自伝と出会いました。本を夢中で読み進めるうちに、同級生の誰よりもフミコが近くに感じられるようになりました。自分の抱えている悩みを誰にも話せなかったミアでしたが、ある出来事をきっかけに、彼女の「世界」は少しずつ変わり始めます。</p>
<p>その本は</p> 	<p>又吉直樹 ヨシタケシンスケ</p>	<p>本好きの年老いた王様が、二人の男を城に呼んで頼み事をしました。それは、世界中をまわって『めずらしい本』の話を集めてくることでした。旅に出た男たちは各地の本の話をたくさん持ち帰り、王様に語り始めました。</p>
<p>いつもの木曜日</p> 	<p>青山美智子</p>	<p>『木曜日にはココアを』の12編の物語の登場人物：ワタル、朝美、えな、泰子、理沙、美佐子、優、ラルフ、シンディ、アツコ、メアリー、マコ。彼らがあの日に出会う前の物語です。</p>
<p>君色パレット 多様性をみつめる ショートストーリー</p> 	<p>戸森しるこ他</p>  	<p>多様性をテーマにあらゆる視点から描かれたアンソロジーです。小中学生を主人公にした短編が4作品ずつ収められている、「ちょっと気になるあの人」「いつも側にいるあの人」「SNSでつながるあの人」の3巻シリーズ。</p>
<p>怖い物件 安在不動産のワケあり物件</p> 	<p>藤白 圭</p>	<p>会社員の保智は、人の好きそうな不動産屋・安在から紹介された物件で、様々な怪奇現象を体験します。その裏に隠された秘密とは？『意味が分かれると怖い話』の著者による不動産ホラーです。</p>
<p>ガリレオの事件簿1・2</p>  	<p>東野圭吾</p>	<p>大人気「ガリレオ・シリーズ」から、ジュニア向けに編みなおした科学トリックミステリーが誕生しました。超常現象といえるような事件を、天才科学者：湯川教授が解き明かします。1巻「ポルターガイストの謎を解け」、2巻「幽体離脱の謎を追え」。</p>
<p>セカイの千怪奇</p> 	<p>木滝りま</p>	<p>未知人と父親の豪は、世界中を駆け巡り、UFOやUMA、などの動画を撮影していました。怪奇の謎を解き明かそうとしている親子に、新たな事件が降りかかります。“実際に存在する・目撃された”怪奇がテーマの読み物です。</p>

世の中は奇跡であふれている 前向きになれる確率の話	鳥越規央 	この本は世の中のあらゆる出来事を確率で捉えたものです。何気なく過ごしていた日常が奇跡と思えたり、不安に思っていたことが安心に変わったり、そんな前向きになれる新しい見方が紹介されています。
めんどくさがりなきみのための文章教室 	はやみねかおる	人気シリーズ『都会のトム&ソーヤ』で知られる作家：はやみねかおるさんの初の実用書です。作文やレポート、小説まで、だれでも文章が上達する方法を物語形式で楽しく教えてくれています。
クイズでわかる生き残り大作戦！防災のサバイバル	韓賢東 	災害に遭遇した時、落ち着いて行動し身を守る方法を学べる、クイズ形式の「子ども版防災ハンドブック」です。シオと一緒に、ノウ博士からの防災ミッションをクリアしながら、楽しく防災の知識を身につけることができます。
The Monkey and the Shikoku Pilgrimage さるとおへんろ 	上田佳奈・ 西崎莉央・ 上池里歩・ 橘泉朱	香川大学教育学部の学生さんが、世界の子どもたちに、お遍路文化に興味を持ってもらうために制作した英語版絵本です。いたずらっ子のおさるさんがお遍路さんの服を身に着けると不思議なことが次々に起こりました。お接待の心に触れることができるストーリーです。

<文庫本・既刊本続編など>

ふしぎ駄菓子屋銭天堂18	廣嶋玲子	都会のトム&ソーヤ18・19	はやみねかおる
シャイロックの子供たち	池井戸潤	祈りのカルテ 再会のセラピー	知念実希人
百花	川村元気	映画ノベライズ耳をすませば	樹島千草
四畳半タイムマシンブルース	森見登美彦	小説すずめの戸締まり	新海誠
ざんねん？はんぱない！脳のなかのびっくり事典	こざきゆう	たった1°のもどかしさ 恋の数 学短歌集	横山明日希
も〜っとわけあって絶滅しました。	丸山貴史		

